



2020年8月14日

各 位

会 社 名 株式会社スマートバリュー
代 表 者 名 代表取締役社長 渋谷 順
(コード番号：9417)
問い合わせ先 取締役管理部門統括 藤原 孝高
TEL. 06-6227-5577

特別損失の計上及び繰延税金資産の取り崩し

並びに通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2020年6月期（2019年7月1日～2020年6月31日）の連結決算及び個別決算において、下記のとおり特別損失を計上及び繰延税金資産の取り崩しを行うとともに、最近の業績動向を踏まえ、2020年2月14日に公表しました2020年6月期通期連結業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

(1) 関係会社株式評価損の計上

連結子会社である株式会社ノースディテールの業績が当初想定していた計画を下回って推移しており、事業計画の見直しを行った結果、個別財務諸表において関係会社株式評価損 650,420 千円を特別損失に計上いたします。

なお、個別決算で計上した関係会社株式評価損は連結決算では振り戻され、「(2) のれんの一括償却」に記載するのれん償却額が連結決算への影響額になります。

(2) のれんの一括償却

上記のとおり、個別決算において連結子会社である株式会社ノースディテール株式の評価損を計上したことにより、「連結財務諸表における資本連結手続きに関する実務指針」の規定に基づき、連結決算において同社に係るのれんの一括償却を実施した結果、のれん償却額 342,973 千円を特別損失に計上いたします。

(3) 減損損失の計上

当社が保有する固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき回収可能性を検討した結果、減損損失 102,220 千円を特別損失に計上いたします。

(4) 投資有価証券評価損の計上

当社が保有する投資有価証券について、簿価に比べて実質価値が著しく下落しているものについて評価した結果、減損処理による投資有価証券評価損 107,416 千円を特別損失に計上いたします。

2. 繰延税金資産の取り崩しについて

連結子会社である株式会社ノースディテールの事業業績を踏まえ、「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」に基づき、今後の繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産 230,565 千円取り崩し、法人税等調整額に 238,269 千円計上いたしました。

3. 連結業績予想値と実績値との差異について

2020年6月期通期連結業績予想数値と実績との差異(2019年7月1日～2020年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,904	91	101	1,029	103.49
実績値 (B)	5,958	△239	△223	32	3.31
増減額 (B-A)	△945	△331	△325	△996	
増減率 (%)	△13.7	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2019年6月期)	7,743	320	344	193	19.48

4. 差異の理由

売上高につきまして、クラウドソリューション事業におきましては、モビリティ・サービスのカーソリューション分野において、新型コロナウイルス感染症の影響による自動車メーカーの生産調整により新車販売が減少し、それに伴い社用車の安全運転支援機器の販売数量が大きく減少したことや、デジタルガバメントにおいても公募や納品の延期により、落ち込み及び期ずれが発生したことなどから、前回発表予想値を下回る結果となりました。

また、利益面では、上記の売上高の減少に加えて、新サービス立ち上げにおけるシステム開発投資においては、効率的なシステム開発体制の確立が遅れ、開発工数が大幅に超過するなど、想定以上の開発コストが原価を圧迫したことから、営業利益、経常利益は、前回発表予想値を下回る結果となりました。

さらに、上記特別損失及び繰延税金資産の取り崩しにより、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想値を下回る結果となりました。

以上